Q 6 高機能自閉症とはどのような 状態ですか

高機能自閉症を理解するためには、まず自閉症を理解することが必要です。

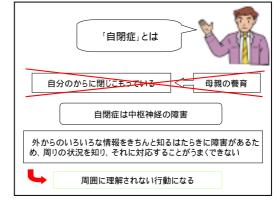
1 自閉症の診断基準と原因

自閉症の診断では、次の3点が基準となっています。

- ・ 相互的な人との交流が困難 視線が合わない、感情表現が難しい、 集団行動がとりにくい
- 言語を中心としたコミュニケーションの障害
- ・ 興味や行動の幅が狭く、こだわりが みられる

自閉症は中枢神経の障害です。心理的な 原因や環境的な要因によるものではありま せん。

目や耳などの感覚器官に問題はありませ

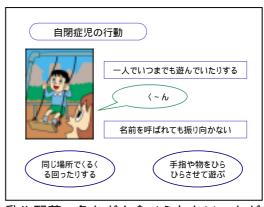


んが、そこから脳内に入ってくる情報を処理する過程に課題があります。そのため、 一般の人とは違った感じ方(認知)をしていると思われます。 また、知的発達の面で遅れのある子どもが多くいます。

2 自閉症の行動

自閉症は認知の発達に大きな偏りがあります。そのため、学習面や行動面に大きな困難が生じます。

たとえば名前を呼ばれても反応しなかったり、いつまでも一人で遊んでいたりするなど、コミュニケーションに課題がある場合や、変化がきらいで時間や場所、順序や物、日程などへのこだわりがあることなどがあります。



また、偏食がある子どもも多くいます。牛乳や野菜、魚などを食べられないことがあります。 25ページ参照

3 高機能自閉症とは

(1)高機能自閉症

自閉症の診断基準がみられ、知的発達の遅れをともなわないものを高機能 自閉症といいます。

この場合の「高機能」という表現は、 必ずしも知的能力が平均よりも高いと いうことを意味しているのではありま せん。「明らかな知的発達の遅れがな い」という意味で使われています。



したがって、「高機能」といっても知的能力が境界域の人から非常に高い人までいます。

(2)アスペルガー症候群

知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものをアスペルガー症候群といいます。なお、高機能自閉症やアスペルガー症候群は、広汎性発達障害 (Pervasive Developmental Disorders・・・PDDと略称)に分類されます。

4 高機能自閉症の症状

(1)社会性の欠如

他者との交流がスムーズにいかない状態がありますが、高機能の場合は慣れ親しんだ環境では、社会性の欠如が目立たないことがあります。この子どもたちを理解するためには、友達との遊びの場面などを詳細に観察することや、発達の過程を知ることが必要です

(2)コミュニケーションの障害

高機能の子どもたちはことばがないということはありません。しかし、その使い方が問題となっています。

覚えたことばを相手や場所、時間などに応じて調節していくことに課題があります。また、ことばの意味を深くとらえることができにくく、字義のみの意味理解にとどまることがあります。

また、相手の表情や身振りなどの非言語的な要素の理解が難しく、ことば以外の表現をコミュニケーションの手段とすることがあまりありません。

これらのために相手の気持ちを傷つけることがわからずに、いやがるようなことばを発してトラブルとなることがあります。また、恥ずかしさがわからないこともあります。

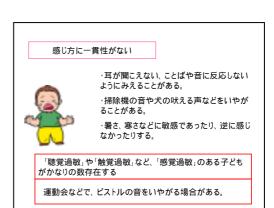
(3)想像力の不足

物を何かにみたてることや現実の経験に想像力を働かせて、アレンジすることが苦手です。

想像力が働きにくいため遊びなどの レパートリーや方法がかぎられてしま い、同一性を保持しようとするために こだわり行動があらわれます。

(4)感覚異常

視覚、聴覚、味覚、臭覚、皮膚感覚 の全ての感覚に過敏さ、あるいは鈍感 さがみられることがあります。



視覚が過敏なため、目に入った文字を読んでしまったり、聴覚が過敏なために 犬の吠える声や運動会のピストルの音を怖がったりします。

また、皮膚感覚が鈍感なために暑さや寒さをあまり感じないこともあります。味覚の過敏さは極端な偏食というようなものとしてあらわれる場合があります。

(5)運動のぎこちなさ

歩き方や走り方がぎくしゃくしている、運動競技が苦手、字が上手に書けない などとしてあらわれます。

ストレスのたまった状態や緊張している状態のときに、体を前後にゆすることやその場で飛び上がったりすることがあらわれることがあります。